

吉野町立小中一貫教育校 **吉野さくら学園**  
【吉野町立吉野小学校・吉野町立吉野中学校】

令和4年4月 開 校



完成イメージ図

## 教育の基本理念

「ふるさと吉野への郷土愛、愛着心あふれるひとづくり」  
～地域資源(自然、歴史、文化、産業)を生かした学びと国際性豊かな学び～

本町の教育は、「確かな学力・豊かな人間性・たくましい心身を備え、ふるさと吉野で育ったことを心の糧に、夢と希望を実現する志の下、自信と誇りをもって力強く生き抜く子どもの育成」をめざしています。

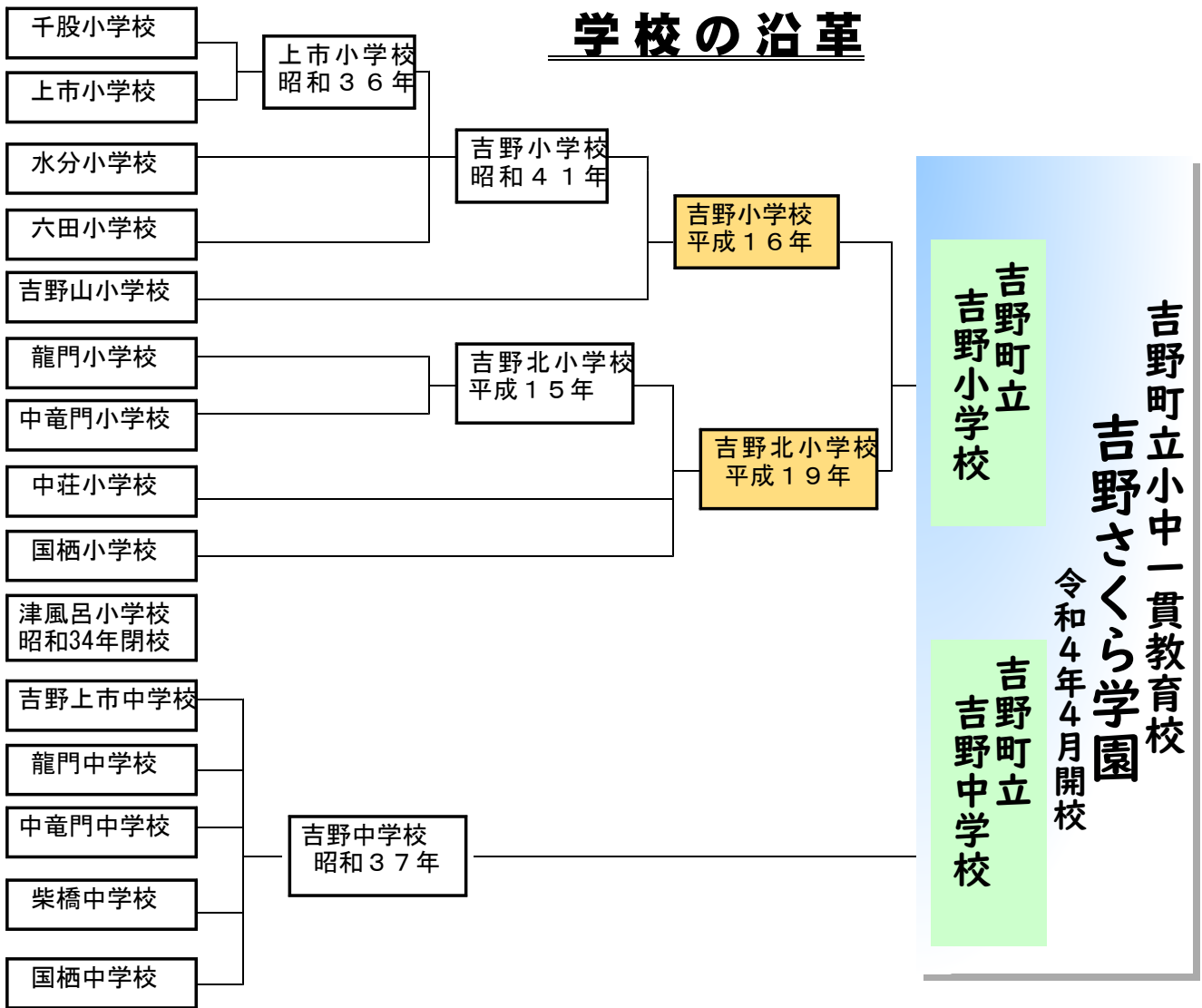
このたびの施設一体型小中一貫教育校は、これからの新しい時代に必要とされる資質・能力を育成するため、義務教育9年間の一貫した教育をより効果的に実施し、連続した学びのある質の高い教育や個々のニーズに対応した教育を推進するために開校します。

今後小中一貫教育校では、以下のような教育を進めます。

- 地域や社会の課題を自らの課題として捉え考える力と身近な地域から世界へと関わっていく力の双方を兼ね備えた資質・能力を育む教育
- 学んだことを人生や社会に生かそうとする学びの力、人間性の涵養、未知の状況にも対応できる思考力・判断力・表現力等の育成、実際の社会や生活で生きて働く知識や技能の習得を図る教育

吉野町・吉野町教育委員会

# 学校の沿革



校名については、吉野町小中一貫教育校開校検討委員会で審議いただき、以下の理由等で、上記右にある校名となりました。

- ・1000年以上も前から使われていた地名「吉野」を残すこと
- ・小中一貫教育校の「吉野〇〇学園」の〇〇は、小中学生の意見で最も多かった「さくら」とすること

## 本町の小中一貫教育の学校制度

中学校併設型小学校・小学校併設型中学校（学校教育法施行規則第79条）

既存の小学校・中学校で、義務教育学校に準じて小中一貫した教育を行う小中一貫型教育校  
 本町では、一貫型教育校を「小中一貫教育校」と呼びます。（小中一貫教育の基本方針にて）

### 吉野さくら学園職員体制

校長

小・中学校を兼務

吉野町立  
吉野小学校

教頭・教職員

中学校を兼務

吉野町立  
吉野中学校

教頭・教職員

小学校を兼務

# 吉野さくら学園がめざす教育

## ～ 学校教育目標 ～

確かな学力・豊かな人間性・たくましい心身を身につけ、自信と誇りをもって未来に向かって力強く生き抜く子どもを育てる。

“こんな学校を創ります”

“こんな子どもを育てます”

- 1.生き生きと学び、楽しさや充実感を味わえる学校
- 2.一人一人が活かされ力を発揮できる学校
- 3.子どもたちが自立して取り組む力が育つ学校
- 4.子どもたちが学び合い高め合う学校
- 5.保護者や地域とつながり信頼される学校

- 1.確かな学力、豊かな人間性、たくましい心身を身につけて活かす子ども
- 2.夢や希望をもち実現に向けて努力する子ども
- 3.学び合い高め合う子ども
- 4.ふるさとから学び考える子ども

学校教育目標をめざして、学びと生活をつなげる教育環境のもと、9年間の「学び」「生活」をつなげるをキーワードに以下のような教育を進めます。

## 9年間をつなぐ魅力ある教育課程

小中学校の連携により学習内容の系統性を大切にし、小中学校職員の協働による発達段階に応じた指導形態・方法を工夫します。

< 学習 >

校種	小学校（小学校学習指導要領）						中学校（中学校学習指導要領）		
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	1年	2年	3年
学習区切り	学習の基礎・基本となる力を身につける時期				学習の基礎・基本の定着を図り、活用する時期		学習を主体的に追究し、自己実現をめざす時期		
指導形態	学級担任制【45分授業】 ・一部専科教員				学級担任制【45分授業】 一部教科担任制 ※（5.6年外国語） ※（6年理科）		教科担任制【50分授業】		
小中連携	○小中学校教員によるT・T（共同）※（6年算数） ○小中学校教員による相互乗り入れ授業								

※令和4年度 実施内容

< 生活 >

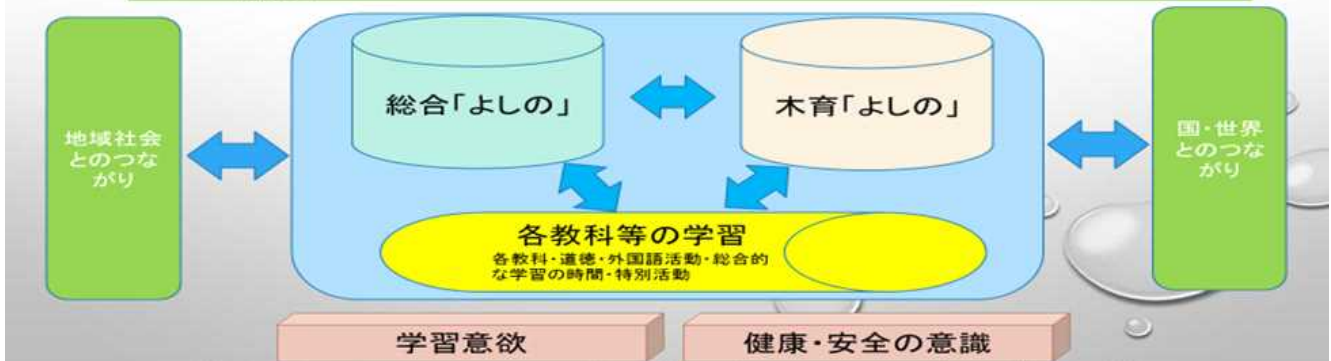
校種	小学校						中学校		
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	1年	2年	3年
生活習慣	繰り返しの経験を通して基本的な生活習慣を身につける時期			基本的な生活習慣の定着と自らの生活を考え工夫する時期			自分にあったよりよい生活習慣を確立し、実践する時期		
特別活動	合同児童・生徒会活動								
	児童会活動						生徒会活動		
	委員会活動						委員会活動		
	クラブ活動						部活動		
キャリア教育	学校生活に適応し、興味関心を持つためのびのび生活する時期		自分の持ち味を生かして友達との関わりを深め、自分の役割を自覚する時期		自分の役割や責任を果たし、集団の中で役立つ喜びを感じ自分への自信につなげる時期		自己理解や自己有用感を獲得し、進路や生き方の現実的探索をする時期		

# 本町独自の魅力ある教育

地域資源（自然、歴史、文化、産業）を活かした学びと国際性豊かな学びを創造します。

## ふるさと教育

趣旨 ○多角的総合的に「ふるさと吉野」を題材に学び、ふるさとを愛し、誇りに思い、胸を張ってふるさとを語る児童生徒を育成する  
○地域的、社会的な課題への意識を高め、持続可能な地域や社会作りの担い手となる児童生徒を育成する



## 外国語(英語)教育

【ねらい】

- ・国際社会でグローバルに活躍できる子どもを育成する
- ・多様な価値観や文化の中で、英語をコミュニケーションツールとして相互理解を深める教育活動を進める

	外国語(英語)活動		外国語(英語)	
	小学校1・2年生	小学校3・4年生	小学校5・6年生	中学校1・2・3年生
指導者	・学級担任 ・ALT (外国語指導助手)	・学級担任 ・ALT	・中学校英語教員 ・ALT	・中学校英語教員 ・ALT
時数	※外国語(英語)活動 年間 9時間 単位時間 45分	外国語(英語)活動 年間 35時間(週1時間) 単位時間 45分	外国語(英語) 年間 70時間(週2時間) 単位時間 45分	外国語(英語) 年間 140時間(週4時間) 単位時間 50分

※1,2年生の英語活動は、小中一貫教育校で認められた小学校段階における指導内容の前倒しで実施

## ICT教育(パソコン、インターネットなどの情報通信技術を活用)

子どもたちを取り巻く環境・社会の急激な変化



将来の予測が難しい社会を生きる力

情報や情報技術を主体的に選択し活用する力

児童生徒が一人一台のPCをもつての学習（だれでもが、いつでも、どこでも）

小中一貫した取組

全ての児童生徒にPC等の情報機器に触れる機会を設け

- ☆機器を主体的に使いこなして基礎学力を向上させる
- ☆情報活用能力をはじめとする21世紀型能力（思考力を中核とし、それを支える基礎力と使い方や方向づける実践力）を育成する
- 学習者用コンピューターの活用
  - ・大画面カメラとしての活用
  - ・グループ学習での活用（調べ学習・討議）
  - ・協働学習での活用（共有化）
  - ・習熟度に応じた個別学習
  - ・PCを文房具として（参考書、辞書、表現の手段等）

ICTを活用した遠隔教育の実施

- 学校間の合同授業・交流
- 遠隔地の外部人材の支援を受けた授業
- 緊急時の遠隔授業
- 個に応じた遠隔での指導

PC等の利用により得られた各種データを活用分析し、教育効果の見える化

- ☆個に応じたきめ細やかな指導の充実
- ☆授業の改善
  - ・視覚化・焦点化・共有化・内面化・定着、発展

予測困難な未来を生き抜く人材



## 豊かな人間関係を醸成する交流活動

思いやりの心、コミュニケーション能力等やリーダーシップを養うとともに、9年間をひとまとまりとして捉え、多様な人間関係づくりを進めます。

### ☆ 小中学校合同による学校行事

基本的に式典は小中合同で行います。

○ 式典 入学式・始業式・終業式・修了式・離任式・着任式

○ 運動会 ※ 卒業式は小・中別々に実施

小中合同

○ 文化的行事、健康安全、体育的行事（運動会以外）、勤労生産、奉仕的行事については、その目的・内容、子どもたちの発達段階等も踏まえ、今後検討します

### ☆ 異学年交流

幅広い学年との交流を通して、多様な人とのふれあいを大切にします。

子どもの実態に即した交流の形態、学年、内容等効果的な実施方法を今後検討します。

☆ 中学校部活動への6年生の参加（令和4年度子どもたちの状況を踏まえ検討します。）

## 小中学生の学びと生活をつなげる校時表

※小学生は45分授業、中学生は50分授業  
※基本の校時で水曜校時・短縮校時等もあります

8:10	8:40	10:20	12:20	13:00	13:40	15:45						
小学校	朝の会	1時間目	2時間目	業間休み	3時間目	4時間目	給食	昼休み	清掃	5時間目	6時間目	終わりの会

8:10	12:25	15:50									
中学校	ホームルーム	1時間目	2時間目	3時間目	4時間目	給食	昼休み	清掃	5時間目	6時間目	ホームルーム

( □ は10分の休憩時間 )

## 小中学校での共通した指導

9年間を見据えた小中学校共通の一貫した指導をめざします。

### 学習習慣育成のための系統的指導

- 授業スタンダード（基本的な授業の流れ）
- 学習規律
- 学習スキル
- ノート指導
- 家庭学習
  - ・ 家庭学習の手引き
  - ・ 学びの標

### 一貫性のある学習カリキュラム

- 外国語
- ふるさと教育
- ICT教育
  - ・ プログラミング教育
- キャリア教育
- 道徳・人権教育
- 言語力の向上

### 9年間の継続的な指導・支援による特別支援教育

- 個別の教育支援計画・指導計画に基づいた将来を見据えた一貫した指導
- 小中学校の計画的、継続的な情報交換

### 共通した生徒指導

吉野さくら学園 「学校の約束」

# これまでの学校の歴史を大切に、 そしてこれまでの教育を礎に、 小中学校が一体となって飛躍する学園への思いを込めて

各小中学校 PTA、各こども園育友会及び区長連合会の各代表者、校園長、教育委員及び学識経験者で構成された「吉野町小中一貫教育校開校検討委員会」で新学校の校名、校歌、校章、制服、PTA 組織や通学方法等について検討いただきました。

## 校歌、校章は、吉野小学校・吉野中学校・吉野さくら学園共通です

三古りにし葉道かへて  
入さまぎまの世は広し  
良き師よ友よ手をとりて  
ともに学ばむ今日もまた  
はげまむ我ら明日もまた

二よき人よしとよく讚へ  
見し山々もゆく水も  
興亡影はうつろへど  
永遠に貫く一すぢは  
正しきものの歴史なり

一花よりあくるみ吉野を  
わがふるさとと生ひ立てる  
生命のつばみ健やかに  
清くきびしくはぐくまむ  
誓いに集う我らなり

### 校歌

佐佐木信綱 作詞  
信時潔 作曲

### 校章



これまでの学校の歴史を受け継ぐ考えから、吉野中学校校章の花一輪に吉野小学校、吉野中学校の「吉」を中央に配置しました。

吉野の歴史がちりばめられた校歌、そして多くの卒業生に歌われ、町民の皆様が親しみ、思いも深い吉野中学校校歌を引き継ぎます。

### 【 通学方法 】

- 中学校 現行通り  
徒歩・自転車・バス
- 小学校  
徒歩通学とバス通学になります。  
徒歩通学圏は河原屋地区  
それ以外の地区はバス通学  
路線は 8 路線を設定  
登校は 1 便、下校は 3 便  
スクール専用車両で  
送迎します。

右記 QR コードから通学バス運行ルートや乗降場所等の資料を閲覧できます。



### 【 制 服 】

- 中学校 現行通り
  - 男子 冬服 標準学生服  
夏服 白カッターシャツ
  - 女子 冬服 学校規定のセーラー服  
夏服 白セーラー服
- 小学校 現行通り
  - 夏期 白半袖ポロシャツ  
紺の半ズボンまたは紺ひだスカート
  - 冬期 白長袖ポロシャツ  
紺のVネックセーター  
紺の半ズボンまたは紺ひだスカート
  - 帽子 野球帽型 または登山帽型

## 学校、家庭、地域が一体となった 豊かな教育環境づくり

吉野さくら学園の開校により町内全域が校区となります。これまで以上に地域や保護者の皆さんとの協働による学校づくりが必要です。ご協力よろしくお願ひします。

- 学校・地域パートナーシップ事業推進  
地域学校協働活動  
学校コミュニティー協議会

- 学校運営協議会制度(コミュニティースクール)の導入  
学校関係者及び地域住民等で構成し、学校運営について協議する機関

### P T A 組織 「吉野さくら学園PTA」

- ・吉野町立吉野中学校と吉野小学校を総合した会
- ・保護者と教職員が相協力して、家庭と学校と社会における本校児童生徒の健全な成長を図ることを目的とする。

発行元 吉野町教育委員会  
発行日 令和3年6月  
問い合わせ先  
吉野町教育委員会事務局教育総務課  
住所 吉野町上市133番地  
電話 0746-32-0190